

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ストライダーズ
 コード番号 9816 URL <http://www.striders.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 早川 良一
 (氏名) 若原 義之

TEL 03-5777-1891

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|---|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年3月期第3四半期 | 2,636 | 39.0 | 46 | — | 43 | 229.6 | 27 | △61.3 |
| 26年3月期第3四半期 | 1,897 | 59.0 | △34 | — | 13 | — | 72 | — |

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 16百万円 (△50.7%) 26年3月期第3四半期 33百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期第3四半期 | 0.33 | 0.33 |
| 26年3月期第3四半期 | 0.89 | 0.88 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 27年3月期第3四半期 | 3,302 | 1,379 | 40.8 | 15.61 |
| 26年3月期 | 2,309 | 1,140 | 48.2 | 13.32 |

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 1,346百万円 26年3月期 1,113百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 27年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 27年3月期(予想) | — | — | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|------|------|------|------|-------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 3,100 | 15.2 | 70 | 52.9 | 70 | △23.4 | 50 | △62.6 | 0.60 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 27年3月期3Q | 86,230,896 株 | 26年3月期 | 83,555,896 株 |
| ② 期末自己株式数 | 27年3月期3Q | 25,598 株 | 26年3月期 | 25,298 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 27年3月期3Q | 84,198,881 株 | 26年3月期3Q | 81,009,505 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。ただし、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済政策、金融政策等を背景に円安や株価上昇が進み、消費増税後の落ち込みから持ち直しつつあります。

このような経済状況下、それぞれの事業において新規顧客獲得に向けた営業努力を重ねる一方で、人件費・外注費の削減等のコストダウンにも努めてまいりました。また、M&Aによる新たな収益源の開拓につきましても継続的に取り組んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は売上高2,636百万円（前年同四半期比39.0%増）、営業利益46百万円（前年同四半期は営業損失34百万円）、経常利益43百万円（前年同四半期比229.6%増）、四半期純利益27百万円（前年同四半期比61.3%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの変更を行っており、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報を当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成し、前年同期比を算出しております。

① I T 関連事業

I T 関連事業につきましては、モバイルリンク株式会社において、車載端末システムの新機種を開発し、既存顧客を中心にシステム入替を提案する営業活動を行ってまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の I T 関連事業の売上高は197百万円（前年同四半期比51.1%増）、営業損失は5百万円（前年同四半期は営業損失21百万円）となりました。

② 企業再生再編事業

企業再生再編事業につきましては、M&Aグローバル・パートナーズ株式会社において、資産売却等のリストラによる収支改善や資金調達支援、M&Aに関するコンサルティング業務等に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の企業再生再編事業の売上高は1百万円（前年同四半期比0.0%増）、営業利益は1百万円（前年同四半期比19.9%増）となりました。

③ 不動産賃貸管理事業

不動産賃貸管理事業につきましては、消費増税に伴う新設住宅の駆け込みの反動による影響は薄れ、住宅着工は緩やかに持ち直しつつあります。また、都市部では相続税増税対策に伴う賃貸住宅の新規供給量が引き続き高い水準にあるため供給過多の状態となり、空室率悪化による市況の下降傾向が継続しております。このような状況下において、株式会社トラストアドバイザーズは、ワンルームやコンパクトタイプの物件管理に特化し、入居率向上や徹底した滞納管理、賃料水準の維持を図ってまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の不動産賃貸管理事業の売上高は1,377百万円（前年同四半期比27.9%増）、営業利益は55百万円（前年同四半期比40.0%増）となりました。

④ 食品関連事業

食品関連事業につきましては、有限会社増田製麺において、神奈川エリアにおける横浜系ラーメンを中心とした中華麺等の製造販売を行っており、新規顧客の開拓や業務の効率化を図り、コスト削減等に努めてまいりましたが、大口顧客の自家製麺化等により取扱高が減少しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の食品関連事業の売上高は118百万円（前年同四半期比28.7%減）、営業損失は0百万円（前年同四半期は営業利益22百万円）となりました。

⑤ ホテル関連事業

ホテル関連事業につきましては、成田空港エリアで成田ゲートウェイホテルを運営しており、政府の観光立国推進に向けた各種施策や円安に伴う訪日外国人数の増加等により、宿泊単価、稼働率共に高水準を維持いたしました。また、平成26年6月に取得し、運営しております倉敷ロイヤルアートホテル（旧ホテル日航倉敷）が売上高に寄与しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間のホテル関連事業の売上高は941百万円（前年同四半期比81.2%増）、営業利益117百万円（前年同四半期比294.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,478百万円となり、前連結会計年度末に比べ23百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が17百万円減少したことによるものであります。固定資産は1,824百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,016百万円増加いたしました。これは主に連結子会社化した株式会社倉敷ロイヤルアートホテルの有形固定資産および無形固定資産がそれぞれ増加したことによるものであります。

この結果、総資産は3,302百万円となり、前連結会計年度末に比べ993百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は626百万円となり、前連結会計年度末に比べ111百万円増加いたしました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が25百万円、未払費用が37百万円、金利スワップが33百万円増加したことによるものであります。固定負債は1,297百万円となり、前連結会計年度末に比べ643百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が415百万円、繰延税金負債が214百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,923百万円となり、前連結会計年度末に比べ754百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,379百万円となり、前連結会計年度末に比べ238百万円増加いたしました。これは主に新株式の発行及び新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ107百万円増加、四半期純利益27百万円の計上によるものです。

この結果、自己資本比率は40.8%（前連結会計年度末は48.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年5月14日の「平成26年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第3四半期連結累計期間において、株式会社倉敷ロイヤルアートホテルを株式の取得により連結子会社化したことに伴い、連結の範囲に含めております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,333,824 | 1,315,941 |
| 売掛金(純額) | 96,456 | 85,530 |
| 有価証券 | 9,815 | - |
| たな卸資産 | 13,918 | 30,503 |
| 繰延税金資産 | 11,355 | 11,355 |
| その他 | 36,535 | 35,332 |
| 流動資産合計 | 1,501,905 | 1,478,661 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 334,480 | 906,915 |
| 土地 | 125,663 | 348,663 |
| その他(純額) | 9,054 | 17,959 |
| 有形固定資産合計 | 469,198 | 1,273,538 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 224,656 | 358,059 |
| その他 | 6,409 | 6,096 |
| 無形固定資産合計 | 231,066 | 364,156 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 65,044 | 119,551 |
| その他 | 42,079 | 66,929 |
| 投資その他の資産合計 | 107,123 | 186,481 |
| 固定資産合計 | 807,389 | 1,824,176 |
| 資産合計 | 2,309,294 | 3,302,837 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 74,493 | 94,113 |
| 短期借入金 | 54,900 | - |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 78,396 | 104,392 |
| 未払金 | 53,919 | 70,352 |
| 未払費用 | 44,200 | 82,055 |
| 未払法人税等 | 13,443 | 12,420 |
| 賞与引当金 | 13,285 | 7,231 |
| 預り金 | 87,699 | 110,784 |
| 金利スワップ | 6,296 | 39,445 |
| その他 | 87,947 | 105,397 |
| 流動負債合計 | 514,581 | 626,193 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 420,866 | 835,907 |
| 退職給付に係る負債 | 6,241 | 12,328 |
| 長期預り敷金保証金 | 225,556 | 233,158 |
| 繰延税金負債 | 1,087 | 215,670 |
| 固定負債合計 | 653,750 | 1,297,064 |
| 負債合計 | 1,168,331 | 1,923,257 |

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,403,421 | 1,511,314 |
| 資本剰余金 | 89,015 | 196,908 |
| 利益剰余金 | △369,318 | △341,338 |
| 自己株式 | △2,958 | △2,976 |
| 株主資本合計 | 1,120,159 | 1,363,907 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △836 | 21,922 |
| 繰延ヘッジ損益 | △6,296 | △39,445 |
| その他の包括利益累計額合計 | △7,133 | △17,523 |
| 新株予約権 | 409 | 6,714 |
| 少数株主持分 | 27,526 | 26,481 |
| 純資産合計 | 1,140,962 | 1,379,579 |
| 負債純資産合計 | 2,309,294 | 3,302,837 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 1,897,374 | 2,636,504 |
| 売上原価 | 1,096,399 | 1,507,438 |
| 売上総利益 | 800,974 | 1,129,066 |
| 販売費及び一般管理費 | 835,459 | 1,082,444 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △34,484 | 46,621 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 89 | 303 |
| 受取配当金 | 49,049 | 251 |
| 受取手数料 | 2,636 | 3,287 |
| 有価証券売却益 | — | 5,809 |
| 貸倒引当金戻入額 | 163 | 499 |
| その他 | 8,802 | 14,677 |
| 営業外収益合計 | 60,741 | 24,830 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 7,412 | 13,735 |
| 有価証券評価損 | 1,207 | — |
| 新株発行費 | 2,625 | 7,857 |
| 租税公課 | — | 2,939 |
| その他 | 1,928 | 3,796 |
| 営業外費用合計 | 13,173 | 28,328 |
| 経常利益 | 13,084 | 43,123 |
| 特別利益 | | |
| 為替差益 | 66,087 | — |
| その他 | 446 | 363 |
| 特別利益合計 | 66,534 | 363 |
| 特別損失 | | |
| 事業譲渡損 | 4,151 | — |
| その他 | — | 620 |
| 特別損失合計 | 4,151 | 620 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 75,466 | 42,865 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 8,073 | 18,979 |
| 法人税等調整額 | — | △2,973 |
| 法人税等合計 | 8,073 | 16,005 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 67,393 | 26,860 |
| 少数株主損失(△) | △4,964 | △1,119 |
| 四半期純利益 | 72,357 | 27,980 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 67,393 | 26,860 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △33,997 | 22,759 |
| 繰延ヘッジ損益 | — | △33,149 |
| その他の包括利益合計 | △33,997 | △10,390 |
| 四半期包括利益 | 33,395 | 16,469 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 38,360 | 17,589 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | △4,964 | △1,119 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、平成26年11月4日を払込期日とする第三者割当増資により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ101,200千円増加しております。

また、新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ6,692千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が1,511,314千円、資本剰余金が196,908千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | | 合計 | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|---------------------------|------------|------------------|---------------|------------|-------------|------------|-----------|--------------|--------------------------------|
| | IT関連 事業 | 企業再 生再編 事業 | 不動産賃貸 管理事業 | 食品関連 事業 | ホテル関 連事業 | その他の 事業 | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 130,852 | 1,400 | 1,076,814 | 165,763 | 519,685 | 2,857 | 1,897,374 | — | 1,897,374 |
| セグメント間の 内部売上高 又は振替高 | — | — | — | 152 | — | — | 152 | △152 | — |
| 計 | 130,852 | 1,400 | 1,076,814 | 165,915 | 519,685 | 2,857 | 1,897,526 | △152 | 1,897,374 |
| セグメント利益 又は損失(△) | △21,206 | 892 | 39,908 | 22,086 | 29,696 | 577 | 71,954 | △106,439 | △34,484 |

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△106,439千円は、主に管理部門にかかる人件費及び経費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | 合計 | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|---------------------------|------------|------------------|---------------|------------|-------------|-----------|--------------|--------------------------------|
| | IT関連 事業 | 企業再 生再編 事業 | 不動産賃貸 管理事業 | 食品関連 事業 | ホテル関 連事業 | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 197,673 | 1,400 | 1,377,307 | 118,255 | 941,868 | 2,636,504 | — | 2,636,504 |
| セグメント間の 内部売上高又は 振替高 | — | — | — | 76 | — | 76 | △76 | — |
| 計 | 197,673 | 1,400 | 1,377,307 | 118,331 | 941,868 | 2,636,581 | △76 | 2,636,504 |
| セグメント利益又 は損失(△) | △5,136 | 1,070 | 55,881 | △491 | 117,066 | 168,390 | △121,768 | 46,621 |

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△121,768千円は、主に管理部門にかかる人件費及び経費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間において、株式会社社会数ロイヤルアートホテルの株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「ホテル関連事業」において1,087,561千円増加しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントから「その他の事業」を除外しております。これは、同事業のグローバル芸術家有限責任事業組合が所有しておりました絵画作品について売却が完了し、平成26年4月に清算終了したためであります。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ホテル関連事業」セグメントにおいて、株式会社倉敷ロイヤルアートホテルを連結子会社化いたしました。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては158,382千円であります。